

第5回

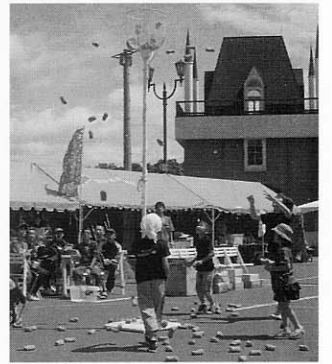
童話村夏に恋まつり

8月4日から2日間、『第5回童話村たきのうえ夏に恋まつり』が虹の橋ひろばで行われました。

初日は、森の熊さん音楽隊の演奏で開幕しました。予定されていた大型バイク交通安全パレードは台風5号の影響で残念ながら中止になりましたが、地元高校生や町外から参加のあったYOSAKOIソーランの舞いが会場を盛り上げました。

2日目は、前日の天気嘘のように青空が広がりました。そんな中、豊かな自然を体験できる渚滑川溪谷ウォークや、陽殖園観光ツアーが行われ、みなさん癒されたことと思います。まつり会場では溪谷玉入れ、地場産品などが当たるビンゴや野菜重量当てなどのゲームを楽しみました。また、地元のバンドがステージ演奏を披露しました。

フィナーレは、前日悪天候のため延期された花火が打ち上げられ、夏の夜空を美しく彩りました。





◇世界でたったひとつ

7月30日から2日間、たくみ館で陶芸教室（わんぱく専科共催）がありました。

陶芸教室には小学生を中心に39人集まり、お皿や湯のみなどの陶器を作りました。

初日の作業は【成形】です。粘土を板状にのばして形を作ったり、ひも状にして積み上げながら形を作りました。

一晚乾燥させてから、2日目の作業は【削り】です。ろくろなどの道具を使って、湯飲みなどの底に「高台」を削りながら作ります。

また、装飾や彫刻もしました。陶器づくりの作業を見ると、みんな真剣な表情で取り組んでおり、まさに芸術家の風ぼうです。

中にはドーナツ型の物立てを作り、自慢げに見せあう子もいました。

教室が終わって、講師の片倉先生（稚内市）からは「世界に一つしかない『うっわ』を大切にしてください」とのお話があり、子ども達からは「ありがとうございます」とお礼の言葉がありました。

町長室へようこそ No.1



早いものですね、町長に就任してから3ヵ月余りが過ぎました。あいさつ回りや、各種団体の会議などへの出席、町の行事、町長としての施政方針を示す定例議会、西紋別地区や旭川紋別間高規格道路・網走管内などの開発期成会の暑い暑い東京夏季陳情も無事終えて、一息ついているところです。

今回から役場のホームページや広報紙に、いろいろな会議や行事に参加した感想や時々話題について、私の思いを載せることにしました。読んでいただければ幸いですし、「町長へのメール」に感想などいただくとうれしいですね。

酪農家としての肉体労働の毎日から一変してこの仕事に就き、体の筋肉が変調をきたしていました（首がガチガチに凝って大変でした）が、ようやく慣れてきました。でも牛の顔を見るとなぜかほっとしてしまう今日このごろです。

【滝上は長寿の町】

溪樹園の五十嵐清さんがめでたく110歳を迎えられました。いま男性の最高齢が111歳ですから日本の最高齢になる可能性もありますね。先日お孫さんがきて碁を2局やったそうです。碁を打つときは背筋がピツとなられると、左京施設長が感心しておられました。お元気なのは何よりです。園には105歳になる岡崎トキワさんもおられます。明治生まれの気骨もさることながら、溪樹園の環境もよいのだと思います。

さらに、町には今月100歳を迎えられる齋藤直政さん、11月に100歳を迎えられる木村龍三郎さんがおられます。人口3000人の町でこんなに長寿の方がいるというのは素晴らしいことです。水・空気・食べ物・そして人、という要素がうまく機能しているのではないのでしょうか。

◇町長へのメールアドレスは、tyoutyou@town.takinoue.hokkaido.jpです。